

第68期

IR Report

株主通信

平成25年4月1日～平成26年3月31日



≡ SUGITA ACE

JASDAQ

証券コード：7635

特集 社長インタビュー

「MISSION500」を達成!創業80周年を迎えます。

念願の年商500億円を達成することが出来ました。創業80周年という節目の年にCIを変更、新たな目標に向けて社員一丸となり進んでまいります。

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当事業年度(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の「株主通信」をお届けするにあたりまして、皆さまからの日頃のご支援に対し心より厚く御礼申し上げます。

Q 第68期の総括は?

第68期は、創業80周年を翌年に控えた大切な一年でした。グループ売上合計500億円の達成を目標に「MISSION500」をスローガンに掲げ全社一丸となり営業活動を展開してまいりました。持家及び貸家の着工、マンションの販売戸数とも増加傾向をたどり、業績も堅調に推移しました。

しかし、年度末になり、消費増税前の駆け込み受注により職人不足なども発生し納品が翌期にずれ込む物件も増え、最後まで目標達成が見えない状況に追い込まれました。「何があっても目標を達成しよう!」という号令のもと、お客様や仕入先様にも応援いただき達成することができました。3月度の月商は過去最高の額となりました。社員一人一人が良く頑張ってくれたと思っています。杉田エースの底力を感じた期となりました。

今期は、新たにヨネミツエース株式会社を連結子会社に加え、当社グループの事業領域の一層の拡大を図りました。ルート事業の他に、設計・加工・施工のワンストップサービスの提供、通販事業、ショールームにおける一般消費者向けの販売等、多角的な販売政策を進め総合力が高まったことが大きな財産です。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高50,363百万円(前連結会計年度比9.7%増)、営業利益736百万円



(同12.5%増)、経常利益993百万円(同24.4%増)、当期純利益611百万円(同11.8%増)となりました。

Q CIを変更の目的は?

皆さまもご存知の通り、平成26年度よりCIを変更いたしました。振り返ると創業50周年に杉田金属から杉田エースへと社名変更、創業60周年には、赤と青をコーポレートカラーにした今まで使用していたロゴマークへとCIを変更しております。創業80周年を迎える節目の今期、当社は新しいロゴと共に新たな一步を踏み出します。30年前の服装では現代の街を歩くことはできません。企業も時代のニーズに合った姿へと進化する必要があります。ダーウィンの言葉ではありませんが、変化に対応した企業のみが生き残っていくのです。その象徴としてCIを変更する決断をしました。新しいロゴマークは、どんなに時を経てもしっかりと変わることのない当社の三つの宝「株主様」「お客様」「従業員」を表現しております。これからも株主様のご期待に沿うべく、時代を先取りした経営に取り組んでまいります。

SUGITA ACE

Q 新生杉田エースの目指すものは?

平成25年度は社内改革、グループ戦略など新しい取り組みを続けてまいりました。その結果としてグループ合計年商500億円を達成。今期より新たな中期5カ年計画を策定しスタートを切っております。それは「コミット600」と「20:20(トゥエンティー・トゥエンティー)」です。2018年に年商600億円を達成し、東京オリンピックが開催する2020年には営業利益20億円を達成するという目標です。その為にはさらなる体質改善が必要です。筋肉質でよりスピーディーな組織へと変える必要があります。東北復興、東京オリンピックと当社に課せられた役割は大きく、当社の

成長こそが2つの成功につながると確信しております。昨年、オープンしたクラブエスタショップも多くのお客様にお越しいただき、アンテナショップとしての役割を果たしております。当社が昨年発売を開始したアウトドアファニチャー「PATIO PETITE (パティオプティ)」や災害用非常食セット「イザメシ」なども展示・販売しており、BtoCのビジネスにとって重要な情報も収集できるようになりました。

アウトドアファニチャー「PATIO PETITE (パティオプティ)」のコンセプトは「都会のアウトドア」。ベランダや屋上でのライフスタイルを提案しています。東急ハンズやロフトでも販売、数多くの雑誌にも記事として取り上げられ大きな反響を得ました。平成26年度には販路のさらなる拡大が期待されております。今後は、ランタンやバーベキュー商品などの販売も計画中です。



もう一つの新商品が災害用非常食セット「イザメシ」。近い将来、南海、東南海大地震、首都直下型地震などが起こる可能性がとても高いと予測されており、災害に備えた「非常食」のニーズはとても大きいものがあります。しかし、今までの非常食は「味が悪く美味しくない」というのがほとんどです。当社が自社ブランド商品として開発した「イザメシ」は、パッケージもおしゃれで、美味しいというもの。備えの非常食ではなく、食べて美味しい非常食なのです。これならば、買い物に出ることが困難な高齢者の皆さまに召し上がっていただいたり、アウトドアとしてバーベキューに持っていくこともできます。住宅用の建材金物から、人々の暮らしの提案へと当社のフィールドは大きく広がっております。

これからも株主の皆さまのご期待にそえるよう、社員一同精進してまいります。

今後とも、倍旧のご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

ニュースダイジェスト

2013年4月～2014年3月

2013年

4月 大宮営業所開設

2014年4月8日に大宮営業所を開設しました。

大宮周辺はマンションの新築着工も多く大きな可能性を秘めています。

大宮を中心に川口、板橋区、北区を担当しております。

【住所】〒337-0004 埼玉県さいたま市見沼区卸町2-6-11

【TEL】048-681-1822 【FAX】048-681-1823



2013年

4月 姫路営業所開設

2014年4月15日に姫路営業所を開設しました。

小さな営業所ですが、若さを武器に頑張っております。

姫路市と岡山県を担当しております。

【住所】〒672-8051 兵庫県姫路市飾磨区清水2-22トレスツリー101

【TEL】079-234-5150 【FAX】079-234-5153



2013年

5月 ヨネミツエースが誕生

創業31年のヨネミツ産業株式会社の全株式を取得し、

社名をヨネミツエース(株)と変更し杉田エースのグループ会社としてスタートしました。

主たる事業所は福岡市、営業所は鹿児島市、長崎市、大分市にあります。



福岡営業所



鹿児島営業所



長崎営業所



大分営業所

2013年

7月 ESTA2013開催

7月26日、27日の2日間、第一会場を東京ドームシティ プリズムホール、第二会場を青山クラブエスタショップ(8月オープン)という新しいスタイルで、建築金物総合見本市「ESTA2013」を開催いたしました。

お陰様をもちまして多くのお客様にご来場いただき、大盛況のうちに閉幕いたしました。受注については、目標120億円に対し、実績125億円 約104%の目標達成となりました。動員についても、目標4500人を上回ることができました。



2013年

8月 青山クラブエスタショップがオープン

アウトドアファニチャー「PATIO PETITE (パティオブティ)」を取り扱う

「club ESTA SHOP (クラブエスタショップ)」が南青山にオープンしました。

今後はPATIO PETITEのショールームの役割に加え、

ガーデニングやインテリア雑貨を扱うアンテナショップとして、またイベントなどにもご使用頂ける空間として展開していきます。



2013年

10月 米子営業所開設

【住所】〒683-0064

鳥取県米子市道笑町4-4-8

【TEL】0859-31-5151

【FAX】0859-31-5155



2013年

10月 鹿児島営業所開設

【住所】〒891-0114

鹿児島県鹿児島市小松原1-40-11

【TEL】099-266-5171

【FAX】099-266-5172



2013年

10月 トクダマシモエース株式会社誕生

当社連結子会社であるトクダエース株式会社とマシモエース株式会社を合併し、新会

社名トクダマシモエース株式会社が誕生しました。東京、神奈川、埼玉を拠点に持ち前

の機動力を武器に工務店、金物店、パワービルダーへと販路を拡大してまいります。



埼玉営業所



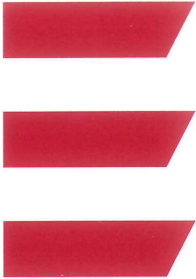
神奈川営業所

2014年

1月 新作発表会開催

2013年に発売した「PATIO PETITE」第1弾に続き、12シリーズ・全30アイテムが新たに加われました。新シリーズでは、壁や窓にぴったりと付くパラソルとテーブル、テラスの柵にセッティングできるテーブル、3段階にリクライニングできるチェアなど、使用するスペースや目的に合わせて選ぶ事ができます。カラーバリエーションも、前作にはない迷彩柄や上品なサンドベージュ色など、スタイリッシュで馴染みやすいバリエーションを揃えております。





SUGITA ACE

80周年を機に杉田エースは 新たな一步を踏み出します

CIの変更

PHILOSOPHY

知 恵
夢
勇 気

PEOPLE

株主様
お客様
従業員

BUSINESS

お客様
仕入先様
杉田エース

企業もファッションと同じようにデザインが大切です。社会の変化に合わせ、見た目をどのようにするのか?が求められています。創業80周年を機にロゴを一新しました。

「杉」の字をモチーフにしたデザインです。三つの「ノ」は、船を表現しています。杉田グループの三艘の船が1000億企業という島を目標に大海原を力強く進んでいきます。「知恵」「夢」「勇氣」をエネルギーとして。

「三」は古代より幸運の数字と呼ばれてきました。△のように一点から二つに増えるという意味を持っています。毛利元就の教えではありませんが、一本の矢なら折れるが、三本の矢なら中々折れない＝三人の力を合わせれば、どんな困難でも立ち向かえる、強固な絆が生まれるのです。これは、「株主様」「お客様」「従業員」という当社のビジネス構造そのもののなのです。

杉田エース CI の歴史

創業 50 周年
社名変更

創業 60 周年
ロゴのマイナーチェンジ

創業 80 周年
ロゴを今回のものに一新

ESTAから「SUGIFES」へ



sUGiFes

長きに渡り愛されてきた「ESTA」ですが、今年から「SUGIFES」へと名称を変更します。今までは、建築金物総合見本市とサブタイトルを付け、やや堅苦しさがあったように思います。もう一度原点に戻り、このイベントを考えた時に浮かんだのが「祭り」です。あまり固いことは言わず、一年に一度お客様、仕入先様が杉田エースのお祭りに集う。そして大いに楽しむ。まさにSUGITA FESTIVALなのです。これを略してSUGIFESと命名しました。

今年のテーマカラーは、エコの象徴であるグリーンです。中心にある「I」は、「杉の木」をモチーフにし、O三つは「お客様」「仕入先様」「杉田エース」を表しています。

2014年のテーマは「THX80」（サンクスエイティー）



THX80
Thanks



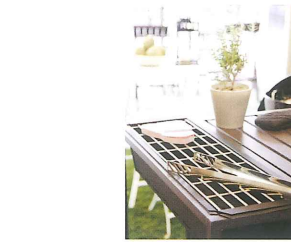
2014年のテーマは「THX80」です。

企業の寿命が30年と言われる中、長きに渡り成長を続けてくることができたのもお客様と仕入先様のお蔭です。その感謝の思いをロゴに託しました。当社でもお馴染みのキャラクターである「きむしファミリー」をデザインしました。お祭りに相応しいとてもキュートなマークになりました。

クラブエスタショップ

著名な家具、キッチン、カーテンメーカーのショールームが立ち並ぶ表参道に、ガーデンスタイルのアンテナショップを昨年8月にオープンしました。広々とした入口にはお客様がお茶を飲みながら、ゆっくりくつろぐことのできる、長いカウンター席と子供たちが遊べるスペースがあります。

奥のスペースとテラスには、都会のマンションやオフィスのテラス、バルコニーにセッティングするだけで、ガーデンライフを楽しめるアウトドアファニチャー「PATIO PETITE (パティオブティ)」のフルラインナップを展示・販売。オープン以来さまざまなイベントが開催され、多くのお客様にお越しいただいております。雑誌やテレビでも取り上げられ、骨董通りの注目スポットになっています。



今までに開催したイベント

2013年

10月 東京のデザインイベント
スペシャルエキシビジョン
club ESTA SHOWROOM



2013年

12月 もちつき大会



2014年

1月 写真教室



2014年

1月 バラ教室



2014年

2月 妖精ちゃん展



2014年

2月 おちゃっぴ粘土教室



2014年

2月 一筆画教室



2014年

3月 PATIO PETITE
新作発表会



業績・財務ハイライト

営業概況

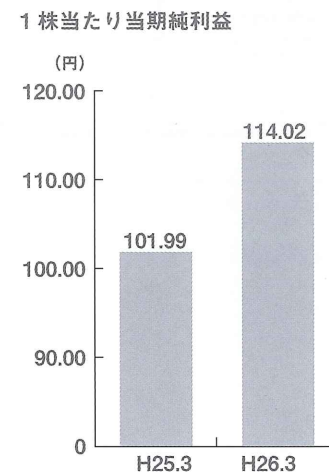
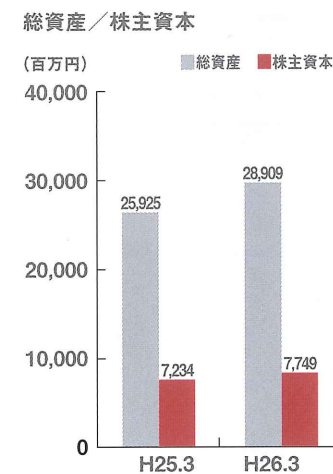
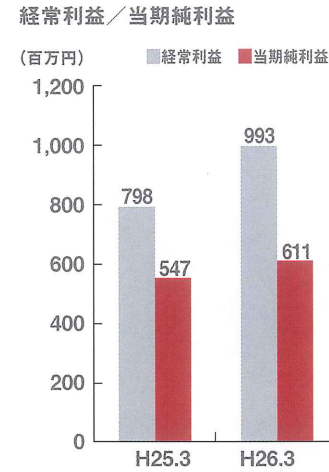
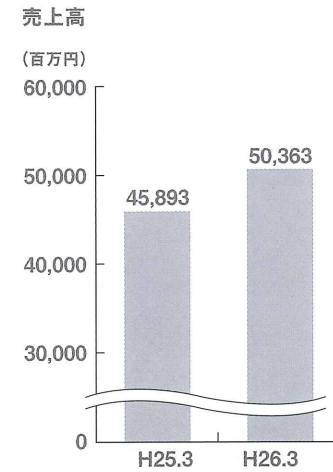
当連結会計年度におけるわが国経済は、デフレ脱却を最重要課題に掲げて取り組んだ政府・日銀の経済政策により、円安・株高が進み、景気は回復基調にありましたが、海外経済の成長鈍化等により、依然として不透明な状況が続きました。

住宅建設業界におきましては、持家及び賃貸の着工、マンションの販売戸数とも増加傾向をたどり、堅調に推移しました。

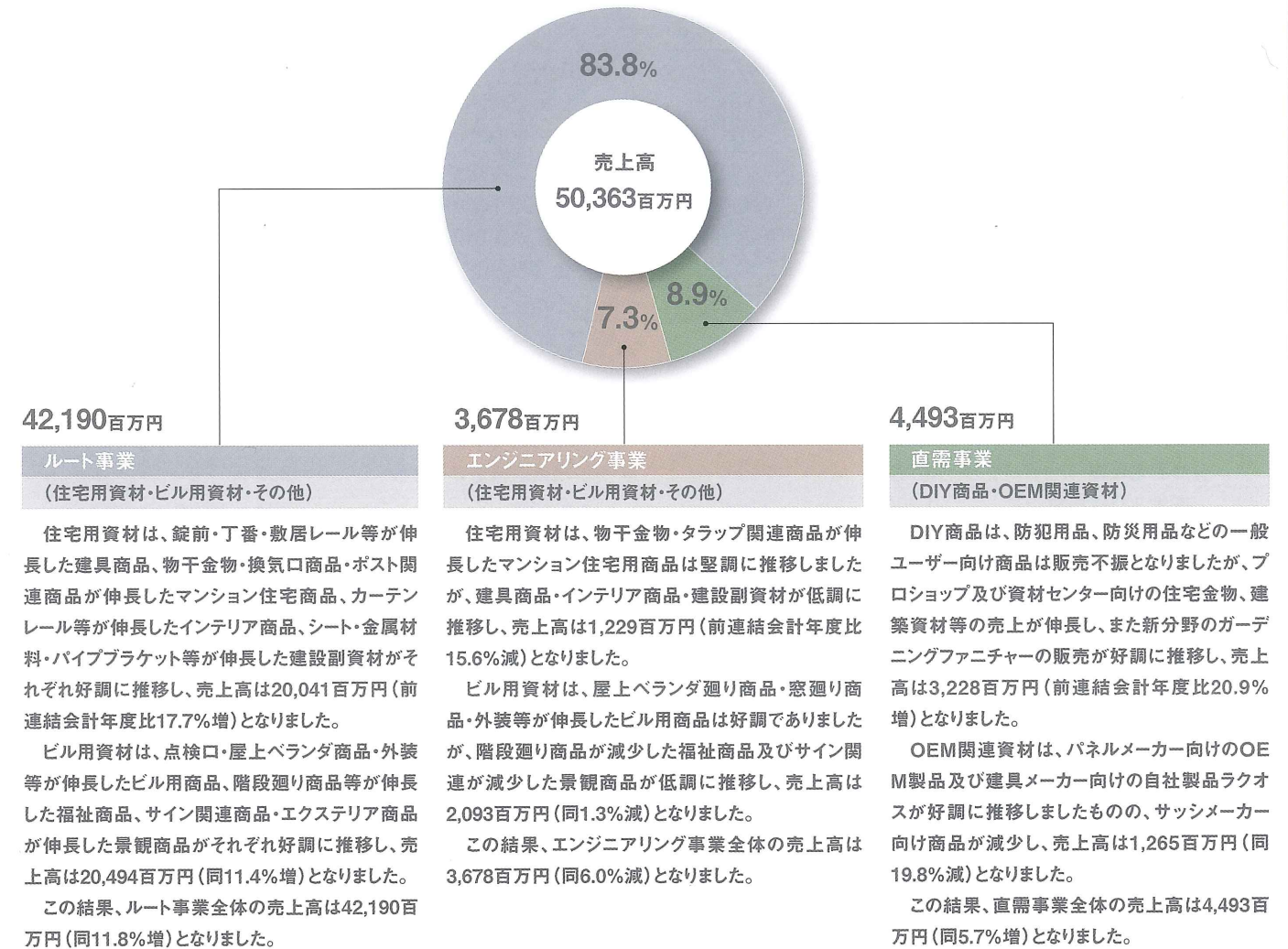
このような状況の中、新たにヨネミツエース株式会社を連結子会社に加え、当社グループの事業領域の一層の拡大を図り、ルート事業の他に、設計・加工・施工の一気提供事業、通販事業、ショールームにおける一般消費者向けの販売等、多角的な販売政策を進めて参りました。

以上の結果、当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高50,363百万円（前連結会計年度比9.7%増）、営業利益736百万円（同12.5%増）、経常利益993百万円（同24.4%増）、当期純利益611百万円（同11.8%増）となりました。

連結財務ハイライト



セグメント状況



決算レポート

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	第67期 平成25年3月31日現在	第68期 平成26年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	20,632	23,153
現金及び預金	1,835	2,196
受取手形及び売掛金	15,239	17,299
たな卸資産	2,115	2,290
未収入金	1,311	1,217
繰延税金資産	145	164
その他	32	31
貸倒引当金	△47	△46
固定資産	5,293	5,755
有形固定資産	3,792	3,854
建物及び構築物	1,590	1,616
土地	2,080	2,107
その他	121	130
無形固定資産	117	163
ソフトウェア	58	56
その他	58	106
投資その他の資産	1,384	1,738
投資有価証券	673	967
繰延税金資産	118	135
その他	591	635
資産合計	25,925	28,909

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

科 目	第67期 平成25年3月31日現在	第68期 平成26年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	16,890	19,024
支払手形及び買掛金	15,200	11,546
電子記録債務	—	5,577
1年内返済予定の長期借入金	527	554
未払法人税等	379	431
賞与引当金	—	267
その他	783	648
固定負債	1,743	2,143
長期借入金	873	1,173
退職給付引当金	387	—
退職給付に係る負債	—	469
役員退職慰労引当金	396	404
その他	85	96
負債合計	18,634	21,168
(純資産の部)		
株主資本	7,234	7,749
資本金	697	697
資本剰余金	409	409
利益剰余金	6,131	6,646
自己株式	△3	△4
その他の包括利益累計額	13	△8
その他有価証券評価差額金	13	39
退職給付に係る調整累計額	—	△47
少数株主持分	43	0
純資産合計	7,291	7,740
負債純資産合計	25,925	28,909

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第67期 自 平成24年4月 1 日 至 平成25年3月31日	第68期 自 平成25年4月 1 日 至 平成26年3月31日
売上高	45,893	50,363
売上原価	39,420	43,186
売上総利益	6,472	7,176
販売費及び一般管理費	5,818	6,439
営業利益	654	736
営業外収益	181	294
受取利息	1	6
受取配当金	16	13
投資有価証券売却益	7	—
仕入割引	100	110
投資事業組合運用益	—	101
受取家賃	19	28
その他	36	34
営業外費用	37	37
支払利息	17	21
手形売却損	13	13
為替差損	4	—
その他	2	2
経常利益	798	993
特別利益	26	59
固定資産売却益	—	0
負ののれん発生益	26	58
特別損失	10	8
固定資産除売却損	10	8
税金等調整前当期純利益	814	1,044
法人税、住民税及び事業税	381	456
法人税等調整額	△117	△22
少数株主損益調整前当期純利益	549	611
少数株主利益	2	△0
当期純利益	547	611

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
平成25年4月1日残高	697	409	6,131	△3	7,234	13	-	13	43	7,291
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	-	-	△96	-	△96	-	-	-	-	△96
当期純利益	-	-	611	-	611	-	-	-	-	611
自己株式の取得	-	-	-	△0	△0	-	-	-	-	△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	25	△47	△21	△43	△65
連結会計年度中の変動額合計	-	-	515	△0	514	25	△47	△21	△43	449
平成26年3月31日残高	697	409	6,646	△4	7,749	39	△47	△8	0	7,740

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第67期 自 平成24年4月 1 日 至 平成25年3月31日	第68期 自 平成25年4月 1 日 至 平成26年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	394	644
投資活動による キャッシュ・フロー	△319	△612
財務活動による キャッシュ・フロー	383	228
現金及び現金同等物の 増加額(△減少額)	458	260
現金及び現金同等物の 期首残高	1,247	1,705
現金及び現金同等物の 期末残高	1,705	1,966

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(平成26年3月31日現在)

(平成26年3月31日現在)

(注) 持株比率は自己株式(8,784株)を控除して計算しております。

(平成26年3月31日現在)

(平成26年3月31日現在)

(平成26年4月1日現在)

(平成26年4月1日現在)

(注) 監査役 白土 種治・田中 康一の両氏は、
会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株主メモ(株式のご案内)

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 その他必要があるときは、
 予め公告して定めた日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
 口座管理機関
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎0120-782-031

(インターネットホームページ URL)

<http://www.smtb.jp/>

[personal/agency/index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

- 公告掲載新聞 日本経済新聞

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

単元株式数変更のご案内

当社は平成26年5月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

1. 上記変更に伴い、平成26年5月1日をもって東京証券取引所における売買単位も1,000株から100株に変更されました。
2. 株主各位におかれましては、一切のお手続きは不要ですので、念のため申し添えます。

株主優待制度のご案内

毎年3月末日現在の、株主名簿に記録されている1,000株以上ご所有の株主の皆さまを対象に、当社取扱商品を贈呈します。

平成26年3月期末は「災害用非常食セット イザメシ」を贈呈します。

- スピードセット
- ヘルシーセット
- パワーセット

※上記セットのうち、好きな1セットを贈呈

- ご参考 災害用非常食セット「イザメシ」セット例



※イメージは「スピードセット」になります。
 詳細は同梱のちらしをご参照ください。

杉田エース株式会社

〒130-0021 東京都墨田区緑二丁目14番15号

TEL.03-3633-5150 FAX.03-3633-5023

当社に関する情報についてはホームページでもご覧いただけます。

<http://www.sugita-ace.co.jp>